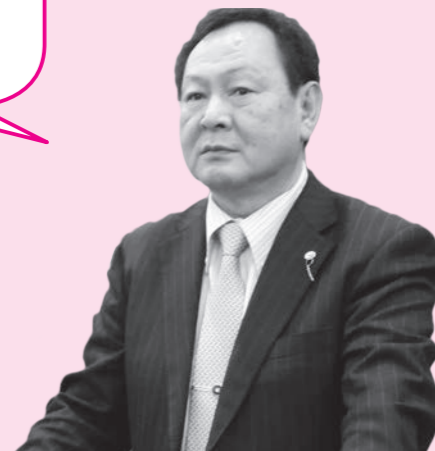


## 道の駅 玉村宿への電気自動車 (EV) 充電スタンド設置はいつか



浅見 武志



町長

平成 28 年 2 月に  
運用を開始する



普及が進むEV充電スタンド

質問

今年度の予算として、電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッド車 (PHV) の充電スタンドを設置する計画となっている。しかし、未だにEV充電スタンドは設置されていない。現在までの具体的な進捗状況と設置予定時期を伺う。

答弁

町長 現在の進捗状況だが、当初は、町で補助金制度を活用して、直営にて設置を予定していた。しかし、本年度にイーオアシスプロジェクト

という制度が発足されたことを受けて、本制度を活用して設置することとした。

本制度は、経済産業省、国土交通省が平成26年度補正予算で補助金を設け、全国に充電インフラの整備をさらに推進するといった国の動向を背景に、国内大手充電器関係企業が提携し、充電環境を一気に向上させることを目的として発足された企業アライアンスのプロジェクト制度である。

本制度を活用することにより、充電器の設置、運営、管理はすべて、イーオアシスプロジェクトの主幹企業である日本充電インフラ株式会社が行うので、初期の整備費用、運用コストも大幅に削減できることとなる。

本制度の活用にあたっては、日本充電インフラ株式会社との協議を重ね、平成27年10月8日に協定を提携し、現在は電力供給協議等の具体的な事業協議が終了した段階である。

EV充電器の設置工事は12月14日から着手し、1月15日に完了予定となっている。

運用の時期は、充電器設置後の試験運転等を行い、遅くとも2月ごろから利用できるものと考えている。

## JAしばね支店跡地に多目的用途の勤労者施設をつくれ



石川 眞男



町長

地域の要望等も踏まえて  
検討する

質問

JAしばね支店跡地は芝根地区の住民にとってかけがえない場所だ。工業団地で働く勤労者と住民の交流施設をつくれ。

答弁

町長 勤労者施設は町全域を対象に事業推進を図っている。この地には想定しにくい。しかし、支店跡地については、芝根区長全員からの要望書が提出され、またJA幹部からも「町に買ってもらうことを第一に考えている」との回答をいただいている。地域要望等を踏まえ検討する。

質問

下之宮、川井の水門の開閉ができない。緊急時に対応できる体制を。

答弁

町長 下之宮の水門は、伊勢崎土木事務所と協議の結果、通路部分にコンクリート壁を設置し、板の設置作業が不要となる構造に変更する計画で、地元関係者と協議をしている。



跡地利用が注目される旧JAしばね支店

川井の水門については、開閉が可能であるが、水害を確実に防止するため、国交省と町でよい管理方法を検討したい。

町内外から注目を浴び始めた水辺の森公園の一層の環境整備を進めよ。

質問

町長 この施設は群馬県から町が指定管理を受け

生活困窮者自立支援法の運用実態を問う。

答弁

町長 事業実施を群馬県社会福祉協議会(以下「県社協」という)が委託先として運営している。町では、生活保護担当部署や社会福祉協議会が一次窓口となり、県社協へつないでいる。生活困窮者の人数把握は困難だが、担当課以外からも情報協力をもらい、発見・把握に努める。県社協は現在5件の支援プランを立てている。